

福岡県立三池高等学校 Can-Do リスト(旧課程)

卒業時の学習到達目標

- 1、高校段階における英語の技能が身につけており、自分の考えを適切な英語を使用して表現したり、相手の言うことを理解したりできる。
- 2、間違いを恐れずに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。

		Reading	Listening	Speaking	Writing
第 3 学 期 学 年	3	現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	標準的な英語の発音を聞き取り、日常の勉強や仕事に関するトピックについての明確な事実情報を理解することができ、メッセージの概要とともに詳細も聞き取ることができる。	関心のある社会的な状況について、自分の意見や感想を加えながら伝えることができる。	自分が興味関心のあつトピックに関して、「賛成」「反対」を理由を含めて複数の文で述べるができる。
	2	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得たりすることができる。(料理のレシピ、ガーデニングなど)	標準的な発音で話される比較的長い英文についても、要点を理解することができる。	あらかじめ準備したメモに基づき、接続表現(and, but, because など)を用いて、自分の意見や考えを順序だてて述べることができる。	日常生活で自分が体験したことやお祝いのメッセージ文を複数の文で述べることができる。
	1	1つのパラグラフ(段落)において、主題文(段落の主題を伝える文)と支持文(主題文を支える例など)を区別することができる。	詳しい指示、メッセージ、情報(旅行の手配、録音された天気予報、留守番電話など)を聞いて、理解できる。	日常生活の身近な状況について、理由を明らかにして説明することができる。	複数のパラグラフから構成された文章を読み、要約文を完成させ、あらすじをまとめたり、簡潔に表にまとめたりすることができる。
第 2 学 期 学 年	3	説明、評論などを速読して、要点や概要をとらえ、読み手や聞き手に英語で説明することができる。	事物に関する紹介や報告を聞いて、情報や考えなどの概要や要点をとらえることができる。	説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。	説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わる英文を120語程度で書くことができる。
	2	説明、評論などを速読して、要点や概要をとらえ、読み手や聞き手に日本語で説明することができる。	事物に関する紹介や報告を聞いて、情報や考えなどの概要や要点をある程度とらえることができる。	説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話そうと試みることができる。	説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わる英文を80語程度で書くことができる。
	1	説明、評論などを精読して、要点や概要をとらえると共に、図表との関連を意識しながら読むことができる。	事物に関する紹介や報告を聞いて、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる。	英語の音声的な特徴や意味のまとまりを意識しながら話すことができる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、80程度の英文を書くことができる。